



高砂市の

# 魅力探訪

## 高砂知っどこ案内 優しさを求めつづけた「森はな」

高砂市ゆかりの児童文学作家・森はなの、生誕百年にあたり、彼女の伝記の〔NHK 朝ドラ〕放映採用への機運が高まっています。

森はなは、「あまたの人との出会い」「心のふれあい」「感謝」をモットーとする心優しい人で、65歳の時には、それまでの最高齢で処女作『じろはったん』が日本児童文学者協会新人賞を受賞しました。

森はなは但馬で生まれ育ちましたが、昭和11年から荒井小学校に15年、その後、伊保小学校で9年と、昭和35年まで高砂市で教員生活を送りました。

伊保小学校時代には、森はなが脚本した創作劇「お祭りに来た兄弟」「峠もお祭り」がNHK主催の近畿学校劇コンクールで、連続最優秀賞に選ばれました。

私の周辺には、森はなの教え子も多く、彼女

\*いやます・・・「弥増す」と書き、いよいよ多くなる。ますますはなはだしくなる。という意味があります！

についての思い出を聞くと、「優しい先生、叱られたことがない、褒められた。」と即座に答えます。森はなは「私は生きていく限り死ぬまで勉強だと思っています。」と常々話していたようです。51歳で教員を退いてから、創作活動、後輩の指導、講演と加齢にもかかわらず\*いやますに冴え、エネルギーな活動が人々に感動を残して、平成元年80歳で永眠しました。

兵庫県道徳副読本（小学1、2年）には、森はなの「からすのえんどう」が載っています。森はな文学の原点がここにあり、その世界に、わが子、わが孫たちを誘ってはいかがでしょうか。

（担当：歴史部会 吉田）



じろはったんの像  
(和田山図書館前)



高砂市のシンボル樹と燈

第5号 平成24年1月

# みなとまちづくり瓦版

<http://www.geocities.jp/takasago3710machikyo/index.html>

「3710」は「みなと」と読めるね！

## みなとまちづくり瓦版ってなあに？

高砂市の臨海部がもっと元気になるために、住民と企業と行政と一緒に「高砂みなとまちづくり構想」をつくり、様々な取り組みを行っています。

「みなとまちづくり瓦版」は、これらの高砂みなとまちづくり構想の取り組み状況をお知らせするとともに、高砂市臨海部の魅力をもっと知ってもらいたいと「高砂みなとまちづくり構想推進協議会」の有志が集まって作成したものです。

平成20年1月に創刊号を発行し、この度、第5号が完成しました。

是非ともご愛読いただき、高砂市臨海部の魅力を再発見し、一緒に「まちづくり」について考えていきましょう。

## 史跡等に石柱も設置したよ！

### 高砂商工会議所会館



昭和55年から高砂商工会議所会館として使用され、平成18年3月には、兵庫県の景観形成重要建造物に指定されました。（商工会議所が設置しました）



### 旧国鉄高砂駅跡

じょうとんバスの高砂南停留所付近に設置しました。



### 美濃部達吉氏生家跡

明治憲法下で「天皇機関説」を唱えた高砂町生まれの憲法学者美濃部達吉博士の生家跡に設置しました。

## 編集よもやま話

平成20年からスタートした瓦版も第5号を発行することになりました。

これまで皆様のご協力を得ながら、みなとまちづくりの実現に向けて64の短期行動計画に基づいて取り組みを行ってきました。

策定からまる5年が経過しようとしている今、取り組みについて検証・見直しを行いながら更なる推進に取り組んでいきたいと考えています。（担当：浅原）

編集：みなとまちづくり瓦版つくり隊  
発行：高砂みなとまちづくり構想推進協議会

### 【問い合わせ先】

高砂市まちづくり部  
高砂西港周辺再整備・みなとまちづくり担当  
〒676-8501 高砂市荒井町千鳥1丁目1番1号  
TEL 079-442-2101（代表）  
FAX 079-443-9091





